

平成 30 年度中南米・北米移住者子弟研修受入事業 (結果概要)

福島県生活環境部国際課

1 目的

移住者子弟が、県内での研修や交流を通じて自らのルーツや本県への理解を促進し、県人会の中核として母国と本県の架け橋として活躍できる人材を育成する。

また、震災・原発事故による風評の払拭及び県の魅力を伝えるため、東日本大震災から再生・復興しつつある本県の現状を実際に見て・聞いて・感じてもらい、母国に正確な情報を発信してもらう。

2 日程

平成 31 年 1 月 23 日（水）～2 月 1 日（金） 10 日間

3 研修生 9 名（中南米 5 県人会、北米 4 県人会）

ブラジル福島県人会、北泊福島県人会、在亜福島県人会、ペルー福島県人会、ドミニカ福島県人会、ホノルル福島県人会、ハワイ島福島県人同志会、南加福島県人会、ニューヨーク福島県人会の計 9 県人会から 1 名ずつ

4 研修内容

- (1) 県内視察（復興状況視察、一般視察）
- (2) 知事表敬
- (3) 日本文化体験
- (4) 親戚訪問／ホームステイ
- (5) その他

5 研修日程

日程	内容	宿泊先
1月23日(水)	成田空港着	(上野)
1月24日(木)	海外移住資料館 浅草視察	(福島市)
1月25日(金)	福島の現況説明 福島県環境創造センター(コミュタン福島) 福島県農業総合センター 副知事表敬	(福島市)
1月26日(土)	ホームステイ	(福島市、本宮市、郡山市、 下郷町)
1月27日(日)	ホームステイ	(福島市、本宮市、郡山市、 下郷町)
1月28日(月)	野口英世記念館 喜多方ラーメン(道の駅猪苗代) スキー場体験(リステル猪苗代)	(猪苗代町)
1月29日(火)	酒蔵見学(末廣酒造嘉永蔵) ソースカツ丼作り体験 蒔絵体験(鈴善漆器店) 飯盛山 鶴ヶ城	(福島市)
1月30日(水)	福島県海外移住家族会会長表敬 危機管理センター 日本文化体験(茶道:御倉邸) 意見交換会 交流会	(福島市)
1月31日(木)	相馬市復興視察 東日本国際大学 湯本温泉の復興の取り組み	(いわき市)
2月1日(金)	アクアマリンふくしま 成田空港より離日	

平成30年度中南米・北米移住者子弟研修 研修生名簿 (Participant List)			
	県人会 Kenjinkai	写真 Photo	氏名 Name
中南米 Central & Latin America	ブラジル福島県人会 Brazil Fukushima Kenjinkai		<small>フクモト シンジ</small> 福本 信次 Fukumoto William Shinji
	北伯福島県人会 Hokuhaku Fukushima Kenjinkai		<small>クボタ</small> 久保田 かれん Karen Kubota
	在亜福島県人会 Zaia Fukushima Kenjinkai		<small>スガワラ ノムラ</small> 菅原 野村 マティアス ニコラス Matias Nicolas Sugawara Nomura
	ペルー福島県人会 Peru Fukushima Kenjinkai		ロドリゴ アルベルト ナカムラ ギブ Rodrigo Alberto Nakamura Gibu
	ドミニカ福島県人会 Dominica Fukushima Kenjinkai		<small>ヤナイ ナオジ</small> 矢内 直仁 Naoji Yanai
北米 North America	ホノルル福島県人会 Honolulu Fukushima Kenjinkai		トリシャ ミカ タナカ マンツア Trisha Mika Tanaka Mantua
	ハワイ島福島県人同志会 Hawaii-Shima Fukushima Kenjin Doshi Kai		ミッシー ケイコ ミヤシロ Missy Keiko Miyashiro
	南加福島県人会 Nanka Fukushima Kenjinkai (Los Angeles)		シャーリン アヤ ニューマン Charlene Aya Newman
	ニューヨーク福島県人会 New York Fukushima Kenjinkai		<small>フジワラ ナナ</small> 藤原 奈々 Nana Fujiwara

1月23日（水）

◆成田空港での出迎え

成田空港到着→（スカイライナー）→上野到着

9名の研修生が成田空港に到着し、この日は上野駅付近に宿泊した。

特に中南米の研修生は飛行機での移動時間が長く、大分疲れた様子だった。



成田空港に到着



夕食はしゃぶしゃぶ



ホテルにて9名の研修生がそろった

1月24日（木）

◆海外移住資料館（JICA 横浜）

研修生は、日本語（中南米向け）、英語（中南米向け）、英語（北米向け）の3つのグループに分かれ、日系移民の移住の歴史についてボランティアガイドから説明を受けた。



ボランティアガイドからの説明



移住資料館前にて



福島県も多くの移民を送り出している。

1月24日（木）

◆浅草

浅草寺にお参りしたり、仲見世通りで買い物を楽しんだ。

昼食は回転寿司へ

お土産にお守りを是非買いたいという研修生もいた。



南加シャーリン氏は東京在住の親戚と再開



雷門前で記念撮影



おみくじを引く研修生

1/25 (金)

◆福島県の現況説明

トビー交流員が研修生に向けて、福島県の現況についての説明を行った。



トビー交流員による説明

◆県環境創造センター

環境創造センター（コミュタン福島）の施設内を見学し、放射線や原発事故に対する正しい理解を深めた。



コミュタン内の視察の様子



コミュタン内の視察の様子

◆お昼：ガーデンレストランサララ

三春町にあるガーデンレストランサララにて昼食



昼食の様子



昼食の様子

◆福島県農業総合センター

農業総合センターではモニタリング検査等について説明を受けた後、検査室を見学した。



概要説明



検査室の視察

◆副知事表敬

副知事表敬では研修生1名ずつ自己紹介を行い、記念品として各研修生へ俵べこが贈呈された。

また、研修生らからも各国のお土産品の贈呈があった。



研修生の自己紹介



副知事と研修生との懇談



副知事から赤べこの贈呈



副知事と研修生との集合写真

1 / 25 (金) ~ 1 / 27 (日)

◆ホームステイ

各研修生が親戚宅やボランティア宅でホームステイをした。イチゴ狩りやお寺訪問など、様々な日本文化に触れる経験をした。



ホームステイでの交流



ホームステイでの交流

1 / 28 (月)

◆野口英世記念館

野口英世記念館では野口英世の生家や功績を紹介した展示を見学した。

野口英世はニューヨーク、ブラジル、ペルーなど、研修生の出身国でも功績があり、熱心に見学をしている様子が見られた。



野口英世生家の見学



野口英世記念館内の見学



野口英世記念館での写真撮影



野口英世肖像の千円札2号券

◆喜多方ラーメン（道の駅猪苗代）

道の駅猪苗代にて喜多方ラーメンを食した。



道の駅猪苗代での昼食の様子



道の駅猪苗代での昼食の様子

◆スキー場体験（リステル猪苗代）

リステル猪苗代にてスキー場体験を行った。雪に慣れ親しんでいない研修生も多かったが、そり滑り、スキー、スノーボードと皆、福島冬の体験を楽しんだ。



そり滑りの様子



リステル猪苗代での夕食の様子

◆酒蔵見学（末廣酒造嘉永蔵）

米から日本酒ができるまでの説明を聞いた後、野口英世博士が日本に帰国した際に立ち寄った部屋を見学した。20歳以上の研修生は試飲をしながら福島のおいしい日本酒を知り、お土産として購入していった。



日本酒造りの説明を聞く研修生



野口英世直筆の書(右上部)



酒蔵での試飲の様子

◆ソースカツ丼作り体験

ソースカツ丼の会:中島会長の指導の下、研修生がソースカツ丼作りを体験し、味わった。



中島会長から説明を受ける研修生



ソースカツ丼を食す

◆蒔絵体験（鈴善漆器店）

鈴善漆器点にて茶碗や箸などへの蒔絵体験を行った。
七色の色粉を蒔き鮮やかな絵柄の作品が完成した。



蒔絵の説明を受ける研修生



蒔絵作品とともに記念撮影

◆飯盛山

飯盛山見学は悪天候と時間が押したためにバスの中でガイドの方からの説明のみとなった。

◆鶴ヶ城

ボランティアガイドから英語の説明を受けながら、鶴ヶ城を見学した。



鶴ヶ城前での集合写真



鶴ヶ城内の展示を見学する研修生

1/30 (水)

◆移住家族会会長への表敬

佐藤憲保会長への表敬を行った。



表敬の様子

◆危機管理センター

危機管理センターでは東日本大震災の教訓を踏まえた危機管理対応について説明を受けた。また、備蓄倉庫や保存食についての説明も受けた。



説明を受ける研修生

◆日本文化体験（茶道：御倉邸）

日本文化体験として、福島市の御倉邸を会場として茶道について学んだ



茶道の心得を体験する研修生

◆意見交換会

大島部長、鈴木政策監が、本研修に参加してみての感想要望、風評払拭に向けた情報発信、県人会の現状と課題などについて、研修生との意見交換を行った。



意見交換会の様子



意見交換会の様子

◆交流会

大島部長、鈴木政策監、国際課職員らと研修生との交流会を開催した。



交流会での集合写真

1/31 (木)

◆相馬市復興視察

相馬市の復興視察では相馬市防災備蓄倉庫、相馬双葉漁協、伝承鎮魂祈念館を訪問した。伝承鎮魂祈念館では震災当時の津波の動画を見るとともに、語り部の五十嵐ひで子さんから当時の様子を聞き、震災の悲惨さを当事者から直接学んだ。



備蓄倉庫内の見学



相馬双葉漁協の見学



慰霊碑前



語り部からの話を聞く研修生

◆お昼：たこ八

相馬双葉漁協、鎮魂祈念館からほど近い「たこ八」で昼食を取った。



たこ八での昼食

◆東日本国際大学

東日本国際大学に県費留学生として留学しているペルー福島県人会のデイヴィッドさんが、同大学で自身が所属する国際サークルの活動について発表を行うとともに、同サークルのメンバーと研修生9名との交流の場を設けた。



デイヴィッドさんによるプレゼン



交流の様子



交流の様子



集合写真

◆湯本温泉の復興の取り組み

湯本温泉の復興の取り組みについて説明を受け、いわき市職員や旅館従業員らで発足した男性フラダンスチームからフラを披露していただいた。



男性フラダンスチームの講演



新つたでの夕食

2/1（金）

◆アクアマリンふくしま

アクアマリンふくしまでは、震災当時の様子とその後の復興への取り組みについて説明を受け、施設内を見学した。



アクアマリンでの説明



館内の視察

◆成田空港での見送り



成田空港での集合写真

○結びに

中南米研修、北米研修は平成25年度を除いて、別の日程で行っていたが、今年度は中年米と北米の研修を合同で開催することとした。

同じ福島県にルーツを持つ県人会の若手同士で交流できる絶好の機会となり、研修を通して福島県の現状について理解を深めるとともに、研修生同士の間でもかけがえのない絆が生まれた。

研修生には、今回の研修を通して自分たちが実際に福島県へ足を運び、自らの目で見たこと、耳で聞いたことを各県人会活動の場やその他、情報発信の場で発信するとともに、現地県人会と本県との架け橋として今後も活躍していってくださることを期待したい。